

埼玉会館エスプラナード展2025



実施者:エスプラナード展実行委員会

社会や地域の課題

埼玉県さいたま市の浦和駅西口から徒歩7分ほどのに位置する埼玉会館は1966年二代めの会館として前川國男によって設計され優れた建築として定評があります。ひとつの芸術であるその場と美術・芸術表現、そして屋外を中心としていることで、大気、市民との対話と、概念に囚われることのない、感じることによる生きる気づき、思考に新鮮な一考を投じる、意識の向上を期待するものです。

取組概要及び成果

このエスプラナードで表現したい、自薦他薦の美術作家、彫刻家、パフォーマー(ダンスからだ表現)、はよくこの地を調査し、コンセプトを立ち上げ、作品を制作設置しました。特別な講師はもうけないものの、出品作家が講師でもあり、興味深い成果が、それぞれの胸に響いたと思います。会館の芸術性にリスペクトし、大気に恐れを抱き、さいたま市、埼玉県の地に宿る文化に、人にリスペクトし、ものとの触れ合いに、作家もオーディエンスも充実した場であったとの声をいただきました。